

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

TEL 048-794-1759

FAX 048-794-3388

E-mail jyougenji@hotmail.com



常源寺と檀信徒をつなぐ

李花白 桃花紅

今年の1月は平年よりも暖かい日が多く、境内の梅の花も例年に比べて早く咲きはじめました。立春を過ぎ、常源寺でも少しずつ春の気配が感じられるようになりました。

禅宗の文献に出てくる高僧の言葉を総称して「禅語」と呼びますが、その禅語の中の一つに『李花白 桃花紅（りかはしろく とうかはくれないなり）』という言葉があります。「李すももの花は白、桃の花は紅である」という言葉通りの意味ですが、それが自然の色であり、他の色に変わることはない、何もしなくてもあるがままの姿が美しいということを説いています。着飾ったり見栄を張ったり、私たちはどうしても自分自身を良く見せようとしていろいろな工夫をします。自分を良く見せるために努力をするのは良いことですが、無理して別の人間になろうとする必要はありません。その



の努力が自分自身の本来持っている個性を潰してしまうことになるかもしれないのです。李や桃の花も無理に色を変えたからと言ってそれが美しいとは限りません。李は白で、桃は紅だからこそそれぞれに魅力があるのです。春に咲く境内の花を見ると、自分自身のありのままの姿を輝かせる努力をしなくてはならないという思いにさせられます。常源寺の境内の木々は、毎年決まって必ず同じ色の花を咲かせます。

■□■ 研修旅行の御案内 ■□■

このたび、曹洞宗の大本山である永平寺と世界遺産の白川郷等を巡る2泊3日の研修旅行を企画いたしました。永平寺では、一般の方々の供養等を行う祠堂殿において、皆様の御先祖様の回向を特別にお勤めする予定です。永平寺は、曹洞宗の檀信徒の方には一度は訪れていただきたい全国有数の名刹です。この機会にぜひ御縁を結んでいただけますよう御案内いたします。御参加を御希望される方は、5月8日（木）までに常源寺へ直接お申し込みください。



大本山永平寺

期 日 令和7年6月12日（木）～14日（土） 2泊3日

主な行先 永平寺（福井県）、白川郷・飛騨高山・下呂温泉（岐阜県）等

曹洞宗主催 「禅をきく会」

日 時 令和7年3月12日（水） 12時開場 12時30分開会 16時閉会

会 場 大宮ソニックシティ 1階 大ホール

入 場 料 無料（事前予約不要）

内 容 第一部「生物はなぜ死ぬのか～死を知り、生を尊ぶ～」

講師：小林武彦先生（東京大学定量生命科学研究科教授）

第二部「生きる極意」

講師：盛田正孝老師（大本山總持寺副貫主・正法寺専門僧堂堂長）

春のお彼岸

お彼岸は、春分および秋分の日を中日として、前後の3日ずつを合わせた各7日間をいいます。季節の変わり目にあたり、いのちの尊さや自然の恵みに感謝しながら御先祖様を供養し、御加護を願う行事として古くから行われてきました。各家庭では、だんごやおはぎなどを仏壇に供え、そろってお墓参りに出かける光景が見られます。私たちにとって大変なじみの深い、欠かすことのできない年中行事と言えるでしょう。

今年の春のお彼岸は、3月17日から23日までです。ぜひ、この期間に御仏壇に茶菓やお花をお供えして御家族でお参りをしましょう。また、御都合の良い日にお墓へもお参りください。当山では、下記のとおり春季彼岸法要を厳修いたします。皆様の御参列をお待ちしております。

日 時 令和7年3月20日（木）春分の日 午前10時より
場 所 常源寺本堂

- ◎事前のお申込みや御予約は必要ありません。
- ◎御布施や御志等も不要です。平服でお越しください。
- ◎御法要は20分程度で終了する予定です。お墓参りに併せての御参列も可能です。

お彼岸の御塔婆供養を受け付けます

御供養料 六尺塔婆／一霊・五千円 五尺塔婆／一霊・三千円
申込方法 電話、FAX、Eメールのいずれかにてお申込みください。
直接御来山いただいても結構です。
申込期限 令和7年3月13日（木）まで

- ◎彼岸会法要に参加できない方の御塔婆のみのお申込みも可能です。お申込みの際に、御塔婆をお受け取りになりたい希望日もお伝えください。
- ◎遠方の方、御都合が合わずお墓参りができない方は、お寺で代わりに御塔婆をお建ていたします。御希望の方は、事前に御相談ください。

修正会(しゅうしょうえ)

1月2日（木）、新春祈祷法要の修正会を厳修いたしました。新年にあたり、檀信徒の皆様の家内安全と除災招福、常源寺の寺門興隆、国家の安寧、当日御参拝いただいた皆様の諸縁吉祥等を御祈念いたしました。御参拝いただいた方々には、御祈祷した御札、境内で採れた銀杏、令和7年のカレンダーを差し上げました。当日は40名を超える檀信徒の皆様に御参列をいただきました。



先々代住職 二十七回忌法要

常源寺先々代住職 当山三十一世重興禪月正光大和尚、平成11年2月4日に逝去して、早いもので二十七回忌を迎えました。命日にあたる2月4日には、御本堂並びに歴代住職の墓前にて御法要をお勤めいたしました。併せて、先々代住職が不慮の交通事故で逝去したことに因み、御本堂前にある交通安全地藏菩薩像の前において、世の交通事故絶無を願い、交通安全祈願法要をお勤めいたしました。

